

契丹小字「胡睹董審密墓誌銘」考釈

吳 英 喆

A Study of the Epitaph of Hudujin Shenmi in the Khitan Small Script

Wu, Yingzhe

The Epitaph of Hudujin Shenmi 胡睹董審密 in the Khitan Small Script is preserved at the Khitan Museum in Balin Zuoqi of Chifeng, Inner Mongolia Autonomous Region, China. The time and place of excavation of the epitaph is still unknown. It is assumed to be complete and is an exquisite sample of a Khitan cultural text. It has 39 lines in the Khitan Small Script, with a varying number of characters per line. The total number of characters is 1480, including single characters and blocks. The author of the epitaph lists the personal narratives from the tomb owner's ninth-generation forefather down to his grandsons. His fourth-generation forefather was King Tuoning 駝寧, whose biography is recorded in the *Liaoshi* 遼史. The tomb owner was born on June 13, tenth year of Chongxi 重熙 (1041), and he died on September 16, the seventh year of Daan 大安 (1091). He held the administrative positions of Fellow of the Department of Seal Card 印牌司郎君, Left Department of the Younger Brother of the Emperor 左司郎君, Resident Guardian of Middle Capital 中京留守, and others. His wife and his children gave him a funeral ceremony and buried his corpse at a certain mountain.

There are several historical personages mentioned in the epitaph. These include Xiao He 蕭何, Zhang Liang 張良, Yang Xiong 楊雄, Wang Tong 王通, Zhong Ziqi 鍾子期 and Bao Shuya 鮑叔牙. There is also a literary quotation. According to a preliminary study of the epitaph, we can establish that the tomb owner was the uncle of the tomb owner of the epitaph of Xiao Dilu 蕭敵魯墓誌銘 and a nephew of the tomb owner of the epitaph of Xiao Tuguci 蕭圖古辭墓誌銘. Therefore, the new epitaph will provide significant reference material for the comparative study of the three epitaphs and of the clan of Xiao during the Liao dynasty.

Keywords: Khitan Small Script, Epitaph, Hudujin Shenmi, Decipher
キーワード: 契丹小字, 墓誌銘, 胡睹董審密, 解説

はじめに

1. 墓誌のタイトルと作者

2. 墓主の先祖

2-1 墓主の第九代の先祖

2-2 墓主の第六代の先祖

2-3 墓主の第五代の先祖

2-4 墓主の第四代の先祖

2-5 墓主の第三代の先祖

2-6 墓主の第二代の先祖

3. 墓主本人

4. 墓主本人に対する評価

5. 墓主の家族

6. 葬式

おわりに

図版

附録：墓誌銘逐語訳（部分）

はじめに

契丹小字「胡睹董密墓誌銘」は、現在中国内蒙古自治区巴林左旗の契丹博物館に所蔵されている。この墓誌の発見された時期及び場所は不明である¹⁾。拓本によると、原石面の形はほぼ正方形で、横の長さは72.5 cm、縦の長さは72.5 cm。石面の辺に沿って四つの細い線で方框が作られ、線と線の間45箇所に、小さな模様がある。その正方形の中に計39行の契丹小字があり、単体小字のサイズは1 cm×1 cmほどである。毎行の文字数は一定ではなく、合計1480字ほどが書かれている。その中で、37文字の字形は拓本に基づいては正しく書き写すことができず、およそ1440文字は明瞭である。契丹文字の墓誌は一般的に二つの石で一組となるはずであるが、この墓誌は一つの石だけが残り、もう一つの石の行方は不明である。以下筆者は契丹小字の拓本に基づき、この墓誌の契丹文で書かれた内容を考釈する。

1. 墓誌のタイトルと作者

第1行に、墓誌のタイトルと作者についての情報がある。これは契丹文字の墓誌の慣例である。始めの10文字は：

又	令 令	考 天	天	几 木	安 木	外 空	力 出 木	木 木	又 公	又 雨	木 当
大	□	契丹	国	の	別	国舅	の	□	審密	の	墓誌

その中の^令木^木は墓主の名前で、その第三原字^木の発音が不明のため、この人名に対応する漢字はまだ分からない。^又公は「審密の」という意味（清格爾泰等 1985: 590）。『遼史』『営衛誌中』に「二審密：一曰乙室已，二曰拔里，即国舅也」（二つの審密：一つは乙室已，もう一つは拔里，即ち国舅である）とある。そのため、墓主の名字は「蕭」に違いない。もちろん、国

1) 愛新覺羅 2011. この論文によると、本文で議論している墓誌が出たのは内蒙古自治区通遼市奈曼旗青龍山鎮南溝屯の近くである可能性があるという。そのほか、愛新覺羅氏は、「胡睹董密墓誌銘」を解説したというが、別のどの論文に「解説」が記されているか明らかではない。同論文にも具体的な契丹文字が出ていないので、どの文字がどんな意味を持っているかが明瞭ではない。また、愛新覺羅氏は『契丹文「大中央契丹外戚国舅特里堅審密位墓誌銘」と「国舅楊隱宰相楊隱司蒲奴隱尚書墓誌銘」合考』（『東亜文史論叢』2011年第1号）という論文を発表したという情報もある。しかし、この論文も未見であるため、もし筆者の指摘が愛新覺羅氏の論文と一致しているところがあれば、それは偶然によるものである。

舅別部（別の・国舅）という言葉からも、墓主の名字は「蕭」であることが分かる。なぜなら、遼朝の国舅部に属する人の名字は全部「蕭」であるからである。2/1-2/4²⁾に

𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚
𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚

墓主？胡睹董 第二名 □

その中の𐰺𐰽𐰚は「墓主」を表現していると推測される。𐰺𐰽𐰚は墓主の名前であり、過去の研究から、「胡睹董」³⁾と読む。次は「第二名」という意味。最後は第1行に見られる墓主の別名である。そして、墓誌末の35行目の銘文に「蕭審密」とあるから、本墓誌を「胡睹董審密墓誌銘」と命名する⁴⁾。1/22-31:

𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚
𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚

耶律 司 家 奴 撰 第二 子 楊 哲？ 書丹

以上の内容から、本墓誌の作者は「耶律司家奴」であり、書丹者、即ち朱砂で墓誌銘の文字を石に書いた人物は墓主の次男の「楊哲」であることが判明する。

2. 墓主の先祖

本墓誌の2/8-8/37には、墓主の先祖に関することが記録してある。その先祖の出身地は「迭刺部斡納阿刺石烈□彌里」，2/8-16にそれに関する記録がある。

𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚
𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚 𐰺𐰽𐰚

先祖 □ 迭刺 部 斡納阿刺 石烈 □ 彌里の 人

その中の、「部」は「部族」，「石烈」は「県」，「彌里」は「郷」という意味を表す。これらの地名は『遼史』の六院部にある「斡納阿刺」の記載と一致している。

2-1 墓主の第九代の先祖

墓主の第九代の先祖の名前は𐰺𐰽𐰚，これが2/18にある。その中で，𐰺の発音はy，𐰽はmu⁵⁾（清格爾泰 2011: 417-423），𐰽の発音は不明である。もし𐰽の発音がli 或いはriであれば，𐰺𐰽𐰚は『遼史』「外戚表」にある「胡母里」の発音に似ている。「胡母里」は「忽母里」と書かれることもある。この人物は蕭氏家族の「五世祖」である（康鵬 2011）。契丹小字で書かれた同じ人名は「蕭敵魯墓誌銘」第2行（Wu and Janhunen 2010: 57）にも見られる。

なお、墓主の第八代の先祖名は本墓誌には書かれていないが、「蕭敵魯墓誌銘」の第2行に見られる𐰺𐰽𐰚である（Wu and Janhunen 2010: 57）。第七代の先祖は本墓誌に書かれていないが、「蕭敵魯墓誌銘」の第3行に見られる𐰺𐰽𐰚である（Wu and Janhunen 2010: 57）。この二つの契丹文字と対応する漢字はまだ不明である。

2) 本文では、何行目と何文字目かを「2/8」のように表示する。

3) 劉鳳翥他 2009 より。

4) 愛新覺羅 2011 はこの墓誌を「大中央契丹国外戚国舅特里堅審密位誌銘」と命名している。

5) 本文に引用している契丹小字の発音は全て清格爾泰 2011 を参考にした。

2-2 墓主の第六代の先祖

本墓誌の第2行にある最後の三つの文字^公 ^不 ^和は「第三代の子」という意味。即ち「胡母里」の第三代の子孫であり、3/1-2の^又 ^欠 ^又 ^カ ^六は墓主の第六代の先祖の名前「□郎君」であることが分かる。次の契丹文字3/3-9:

^承 ^天 ^太 ^后 ^の ^弟 ^祖 ^父

この内容により、^又 ^欠 ^カは「承天太后」の祖父の弟であることが分かる、しかし、この人物の名前は史料に見られない。「承天太后」の名前は「蕭綽」。幼名燕燕、景宗皇帝の皇后である。統和元年（983）に「承天皇后」という尊称を得た。

2-3 墓主の第五代の先祖

墓主の第五代の先祖のことが3/13に書かれており、名前は^日 ^欠 ^ス。この文字の第二原字^スの発音はu、最後の^スはerまたはer（清格爾泰 2011: 417-423）と読む。彼は『遼史』「列伝」第十五にある蕭撻凜の父術魯列である（康鵬 2011）。そのため、^日を「術魯」の発音により、julと読むことができる。過去、研究者たちは契丹文字資料によく現れる^日 ^今の意味を「銘」と推測してきたが、発音は不明であった。^日をjulと読むことにより、^日 ^今はjuluと読める。この読み方は蒙古語の「詩」julᡤに極めて似ている⁶⁾。従って、^日 ^本（「宋魏国妃」3）は^日 ^今の動詞形で、^日 ^ス（「仁先」30）の発音julᡤ或いはjulᡤは、蒙古語のjulᡤと一致する可能性がある。

次の文に^今 ^欠 ^ス ^ス（3/25-26）がある。^ス ^スは「太尉」の音訳であることがすでに知られている。^今 ^欠の意味が未だに不明である。^今の発音はt（或いはd）、^欠はurであるから、合わせてturとなり、この音は『遼史』「百官誌二」にある「吐里太尉」の「吐里」の発音と似ている。時に「吐里太尉」は「秃里太尉」とも書かれる⁵⁾。そのため、^百 ^欠 ^今 ^欠 ^今 ^欠 ^ス ^スは「吐里太尉」という意味であると分かり、墓主の第五代の先祖術魯列は「吐里太尉」であることも明らかになる。そのほか、「吐里太尉」は遼時代の「奚六部」にしかないもので、^今 ^欠 ^ス ^スの前の^今 ^欠は「奚族」の「奚」だと推測される。加えて、奚族には六部がある。^今 ^欠 ^ス ^スの前の^百 ^欠 ^ス（^百 ^欠 ^ス）iまたはj、^欠 au、^ス erまたはer。清格爾泰 2011: 417-423）はその中の「遥里」（部）の音訳と考えられる。

2-4 墓主の第四代の先祖

墓主の第四代の先祖は^土 ^不 ^伏である。この人は「大王」になったので、『遼史』「列伝」第十五にある蕭撻凜であることは明らかである。蕭撻凜の別名は「駝寧」。^土 ^不 ^伏の音to-on-on→tonon

6) 契丹語は蒙古語と近い言語と考えられているため、筆者も契丹語と蒙古語の語彙の音形が近いものとみなしている。しかし、契丹語は蒙古語とは全く同じ音形とは考えない。

5) 愛新覚羅（2011: 33）にも「吐里太尉」に関する内容がある。契丹文字が記載されていないため、詳しくは不明であるものの、おそらく^今 ^欠を「吐里」と読んでいると考えられる。

と似ている。ほか、蕭撻凜の経歴も本墓誌の第四代の先祖の経歴と一致している（康鵬 2011）。この人物に関しては本墓誌の 3/29 から 6/1 字に記載されているが、多くの内容がまだ解読できない。その中で、4/14-18 の ^余 ^生 ^中 ^午 ^伏 ^令 ^火 が「阻卜の□達領の都督」と推測される。そして、蕭撻凜の列伝の中の「中伏弩卒」という記載から 5/6-8 の ^公 ^九 ^九 ^化 ^主 は「秘密の弩が命中し」とも推測される。

「蕭敵魯墓誌銘」の 3/15-8/14 にも蕭撻凜に関する記録がある。^公 ^及 ^子 ^主 ^劣 ^安 の意味は「弩が命中して死亡」と考えられる。なお「蕭敵魯墓誌銘」中の ^令 ^杏 ^牙 ^穴 の逐語的な意味は「夜日の官」であるが、蕭撻凜の列伝の「保寧初、為宿直官、累任韃劇」という表現により、^令 ^杏 ^牙 ^穴 の実際の意味は「宿直官」だということが分かる。

2-5 墓主の第三代の先祖

墓主の第三代の先祖、即ち墓主の祖父は ^聖 ^弱 ^伏 ^巫 ^赤 (6/6-8) 阿古真大王であり、^令 ^生 ^主 ^王 (6/16-19) 乾亨皇帝、即ち聖宗皇帝及び ^米 ^升 ^反 ^北 ^主 ^王 ^兩 ^非 ^木 (6/20-24) 重熙皇帝、興宗皇帝の在位時、^午 ^伏 ^令 ^安 (6/28-29) 達領部を管理していたようである。そのほか ^女 ^兆 ^九 ^九 ^水 ^木 ^和 (6/32-35) 「六字功臣」及び ^米 ^升 ^反 ^北 ^主 ^王 ^兩 ^非 ^木 (6/37-39) 「許王」の号を得た。この人に関して「蕭敵魯墓誌銘」にも記録があり、阿古真の別名を ^令 ^火 ^余 (Wu and Janhunen 2010: 78) とする。これは、『遼史』「列伝」第十五にある蕭撻凜の息子の名前「槌古」の音訳であると考えられている（康鵬 2011）。この墓誌によると、阿古真大王は「林牙・夷離畢・東宮統軍使・使相・郡王・南宮統軍使」などの号を得た。

2-6 墓主の第二代の先祖

墓主の第二代の先祖、即ち墓主の父の名前は ^才 ^祭 ^丹 ^丹 ^伏 ^叉 (7/4-5) 胡睹董・帖刺本である。この名前は本墓主の名前と同じである。契丹人の名前としては、父と子の名前が同じ、或いは似ていることは一般的である。その人物は ^山 ^出 ^茶 ^令 ^各 ^女 (7/29-31) 黄皮室詳穩⁶⁾・^令 ^夷 ^巫 ^赤 (7/32-33) 吐里太尉・^圣 ^叉 ^由 ^令 ^欠 ^九 (7/34-36) □度使・^小 ^及 ^化 ^右 ^夷 ^屋 ^叉 ^弱 ^叉 (7/38-8/1-2) 南院同知・^用 ^米 ^女 ^令 ^欠 ^叉 ^叉 (8/3-6) 応州度使・^一 ^为 ^伏 ^只 ^午 ^和 ^令 ^各 ^女 ^妨 ^公 (8/7-12) 東北部達領詳穩院?・^女 ^伏 ^令 ^丙 ^才 ^存 ^巫 ^赤 ^妨 ^公 (8/13-18) 六部奚大王の院?・^又 ^欠 ^令 ^并 ^九 ^亦 ^和 (8/22-24) 上將軍などの号を得て、59歳の時死亡。文中の ^山 ^出 ^茶 ^令 ^各 ^女 は「黄皮室」であることから山が「黄」を表すことが分かり、契丹語の「十干」がやはり蒙古語のように五色で表示されていることが証明される。そして、^出 ^茶 ^令 ^各 ^女 が「耶律奴墓誌銘」の 43 行目にも見られ（石金民等 2001: 68）、「皮室」という漢字に相当する。『遼史』「国語解」によると、「皮室」は契丹語で「金鋼」の意味であることが分かる。

6) 愛新覚羅 (2011: 33) にも「黄皮室詳穩」に関する内容がある、論文中には契丹文字が無いが、おそらく ^山 ^出 ^茶 ^令 ^各 ^女 を「黄皮室詳穩」と読んでいるのであろう。

3. 墓主本人

本墓誌の 8/38 から 16/17 までは、墓主の一生の経歴を記録している。墓主は胡睹董・帖刺本太師と楊傑夫人の次男である。この楊節夫人が耶律仁先の妹であることは「耶律仁先」(第8行)と「耶律智先」(第13行)の内容により判断できる。

墓主は父^{米令}又升^本母^{仕扎}反^及申^反女^反艾^反宅^反包^反天^反矢^反相^反公(9/8-19)重熙十年(1041)辛巳年六月十三日に生まれた。契丹文字^{出反}几^全^{出反}凡^全^{出反}凡^全^{出反}凡^全又(9/28-32)の意味は「人間になり、詩・文字を作る」であるから、墓主は小さい時から、詩や文字が得意であったようである。出^反安^反丁^反巫^反矢(11/1-3)二十八歳で、^{出反}乍^反出^反申^反北^反又^反(11/25-28)「印牌司の郎君」になり、その後^{出反}北^反凡^反又^反(11/42-43)「左司の郎君」になり、そして^{出反}又^反凡^反又^反刃^反(11/47-48)「樞密」に関する仕事もしていた。また^{出反}北^反出^反凡^反用^反相^反^{出反}申^反丙^反又^反丙^反^{出反}申^反全^反(13/18-22)「中京留守になり」、^{出反}无^反申^反申^反又^反申^反又^反刃^反^{出反}申^反申^反(13/24-28)「通事樞密になった」と解読できる。この中の^{出反}申^反申^反申^反を「通事」と推測し、^{出反}无^反申^反申^反又^反刃^反を「事樞密」と推測する。この官職は『遼史』「百官誌」に見られる「南樞密院通事」に一致すると考えられる。その後^{出反}又^反今^反丙^反刃^反又^反申^反又^反平^反(13/29-33)大康二年(1076)の冬、^{出反}力^反申^反出^反又^反今^反各^反出^反(13/37-38)「国舅詳穩」になり、^{出反}北^反化^反出^反平^反^{出反}申^反刃^反(14/4-6)翌年の冬、「林牙」になった。続けて、^{出反}又^反今^反丙^反刃^反又^反申^反又^反申^反(15/22-26)大康五年(1079)の春にどんな官職に赴任したかは不明である。16/3-17:

^{米令}又升^反母^反仕^反扎^反反^反申^反女^反艾^反宅^反包^反天^反矢^反申^反又^反申^反本^反□^反申^反又^反凡^反又^反凡^反又^反凡^反出^反安^反中

大安 七 年 二 月 十 六 日 に □ □ 馬から落ち 死んだ
上は墓主の死亡日である。大安七年は 1091 年で、享年は 50 歳であった。

4. 墓主本人に対する評価

本墓誌の 16/18-26/21 までは、作者の墓主の経歴に関する評価らしい。多くの内容が解読できないが、判読できる部分は以下のとおりである。

16/33-36: ^{出反}今^反考^反申^反刃^反又^反申^反申^反は人名「蕭何」(前 257-前 193)と「張良」(?-前 185)の音訳の可能性がある。^{出反}今^反考^反の今^反は s と、考^反は iau とそれぞれ読み、あわせて siau であり、申^反は xa と読む。漢字「蕭」の中世期の発音は siau^①(李珍華等 1993)⁷⁾であり、「何」は ho^③または ho^④なので、契丹字^{出反}今^反考^反申^反の発音は、人名「蕭何」の中世期漢語の発音によく似ている。

^{出反}刃^反又^反申^反の刃^反は tʃ 或いは tʃa と、又^反申^反は aŋ とそれぞれ読み、あわせて tʃaŋ になる。^{出反}申^反申^反の申^反は l と、申^反は iaŋ と読み、合わせて liaŋ になる。漢字「張」の中世期の読み方は tʃiaŋ^①であり、「良」は liaŋ^②なので、契丹字^{出反}刃^反又^反申^反の発音も人名「張良」の中世期の発音に極めて似ている。

7) 本文に引用している中世漢語の発音は全て李珍華等 1993 を参考にした。siau^①の数字①は声調を表す。以下も同じである。

17/1-4: 𦑶^ス𦑷^ス 𦑱^ス 𦑲^ス は人名「楊雄」(542-612)と「王通」(584-617)の音訳の可能性
 がある。𦑶^スの𦑶はiまたはjと、𦑷^スはajとそれぞれ読み、あわせてiajまたはjaiになる。
 𦑲^スの𦑲はxまたはkと、𦑱はiouと、𦑳はujとそれぞれ読み、あわせてxioujまたは
 kioujになる。漢字「楊」の中世期の発音はiaŋ②,「雄」はhiuŋ②なので、契丹字𦑶^ス𦑷^ス
 の発音は人名「楊雄」に非常に似ている。

𦑱はuaŋと読む。𦑲はtまたはt'u、𦑳はujとそれぞれ読み、あわせてt'ujになる。「王」
 の中世期の発音はuaŋ②またはuaŋ④であり、「通」はthuŋ①なので、契丹字𦑱 𦑲^ス 𦑳^スの発音も、
 人名「王通」の中世期の発音に明らかに似ている。

21/7-16: 𦑲^ス 𦑳^ス 𦑴^ス 𦑵^ス 𦑶^ス 𦑷^ス 𦑸^ス 𦑹^ス 𦑺^ス 𦑻^ス 𦑼^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス

21/17-32: 𦑶^ス 𦑷^ス 𦑸^ス 𦑹^ス 𦑺^ス 𦑻^ス 𦑼^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス

以上の二つのセンテンスは、何らかの漢語の文献からの引用と考えられるが、内容は不明であ
 る。

5. 墓主の家族

本墓誌の26/22-27/26は墓主の兄弟に関する情報である。

26/22-29: 𦑶^ス 𦑷^ス 𦑸^ス 𦑹^ス 𦑺^ス 𦑻^ス 𦑼^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス は「?・兄一人□善奴太尉」という意味で、先頭の𦑶^ス
 の意味は「(墓主と)同父異母の」と推測される。なぜならば、「蕭敵魯墓誌銘」第12行によっ
 て「□善奴太尉」の母は「胡睹董・帖刺本大師」の先妻 𦑶^ス 𦑷^ス (建哥?)であり、墓主の母
 は後妻 𦑶^ス 𦑷^ス 全文楊傑であると分かるからである。

27/8-13: 𦑶^ス 𦑷^ス 𦑸^ス 𦑹^ス 𦑺^ス 𦑻^ス 𦑼^ス 𦑽^ス は「同母の弟一人□郎君」という意味になる。

27/14-25: 𦑶^ス 𦑷^ス 𦑸^ス 𦑹^ス 𦑺^ス 𦑻^ス 𦑼^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス は「姉妹二人、魯傑夫人□夫
 人查刺宰相の帳の人に嫁いだ」。

27/27-29/22は、墓主の妻と子孫に関しての記録である。

𦑶^ス 𦑷^ス 𦑸^ス 𦑹^ス 𦑺^ス 𦑻^ス 𦑼^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス (27/30-43)

妻 烏盧本 娘子 孟 父房の □ □ 詳穩の 娘 今 歳 五十一

この文は「墓主の妻烏盧本夫人は、横帳の孟父房の某人の娘。当時の年齢は五十一歳である」
 を意味する。この女性から二人の息子と二人の娘が生まれた。

長男は記録によれば、

𦑶^ス 𦑷^ス 𦑸^ス 𦑹^ス 𦑺^ス 𦑻^ス 𦑼^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス (27/47-28/6)

大 羅 漢 奴 歳 三十四

𦑶^ス 𦑷^ス 𦑸^ス 𦑹^ス 𦑺^ス 𦑻^ス 𦑼^ス 𦑽^ス 𦑾^ス 𦑿^ス (28/7-15)

妻 阿古 兄 弟の (人 名) 太 師の 娘

とある。この意味は「長男の名は羅漢奴、当時の年齢は三十四歳。彼の妻の名は阿古。彼女は

兄弟の(帳の)某太師の娘」である。長男の妻からは、息子二人、娘一人が生まれた。

次男については、次のような記録がある。

州欠 百危 今夫 ち夫 毛 至 (28/26-31)
小 楊 哲 歳 十 八

楊哲は前述した、本墓誌の書丹者である。

二人の娘のうち、一人は^{存中}卅及_雨、もう一人は^{平力}出_出という名である。

6. 葬式

29/23-39 : 又^{余令}卅及_雨 卅^{余令}卅卅^{今平}卅 丞^{今平}才^{今平}委^{今平}夫^{今平} 伏^{今平}力^{今平} 卅^{今平}中^{今平} ^{今平}夫^{今平} 夫^{今平} 天 「大安七年 (1091)

歳年次辛未九月丙戌朔三十乙卯日、即ち胡睹董が死亡して7ヵ月たってから埋葬した。その

葬式に百^{卅中}几^{卅中} 卅^{卅中}伏^{卅中} 尔^{卅中}火^{卅中} 卅^{卅中}出^{卅中} 卅^{卅中}夫^{卅中} 丞^{卅中}夫^{卅中} 公^{卅中}夫^{卅中} 百^{卅中}危^{卅中} 今^{卅中}夫^{卅中} (30/1-10)「烏盧本・子供の羅漢奴・楊哲、

及び多くの人が参加し、墓の場所は^{今夫}金^{今夫} 丞^{今夫}卅^{今夫} (30/25-26) 某山であった。

丁 卅^{今平}今^{今平} 卅^{今平}夫^{今平} 才^{今平}茶^{今平} 卅^{今平}夫^{今平} ^{今平}中^{今平}夫^{今平} 夫^{今平} (31/37-32/4)

二十諸年 苦難 福 と □

このセンテンスは、墓主の二十年余りの幸福と苦難の経歴を評しているようである。この中で、^{卅中}夫^{卅中}の発音がγasa なので、この文字は蒙古語「苦難」γasalaγ に対応すると推測される。

卅^{今平}水^{今平} 今^{今平}夫^{今平} 夫^{今平}雨^{今平} 夫^{今平}方^{今平} 屋^{今平}当^{今平} 卅^{今平}夫^{今平} 夫^{今平}夫^{今平} 安^{今平}才^{今平} 月^{今平}今^{今平} 夫^{今平}夫^{今平} 夫^{今平} (32/6-13)

□ 鐘 子 期 の 知 鮑 叔 牙 の

このセンテンスに見られる「鐘子期」は春秋時代の楚国の人で、「鮑叔牙」は春秋時代の齊国の大夫である。子水の子はtʃ 或いはtʃu と、水はuɣ とそれぞれ読み、あわせてtʃuɣ になる。今夫の今はs と、夫はi とそれぞれ読み、あわせてsi になる。^{夫中}雨の夫はx またはk と、夫はi と、雨はin とそれぞれ読み、あわせてki-in と読む。雨 in は所属語である。「鐘」の中世期の発音はtʃiung¹であり、「子」はtsi³であり、「期」はkhi²なので、子水 今夫^{夫中}雨の発音は人名「鐘子期」によく似ており、全体として「鐘子期の」という意味になる。

^{卅中}夫^{卅中}の卅はp と、夫はau と、夫はu とそれぞれ読み、あわせてpauu になる。夫^{夫中}夫^{夫中}の夫はʃ と、夫^{夫中}夫^{夫中}はou とそれぞれ読み、あわせてʃou と読む。^{安才}夫^{安才}の安はɲ と、才はia と、夫^{安才}夫^{安才}はan とそれぞれ読み、あわせてɲia-an と読む。その中で、夫^{安才}夫^{安才} an は所属語である。漢字「鮑」の中世期の発音はpau⁴であり、「叔」はʃiu³であり、「牙」の中古音はɲa¹、中世期の音はia²なので、^{卅中}夫^{卅中} 夫^{夫中} 夫^{安才}夫^{安才}の発音は、人名「鮑叔牙」の中古音によく似ており、その意味は「鮑叔牙の」である。

この人名「鐘子期」と「鮑叔牙」を引き合いに出したのは、墓主の評価が高かったためと考えられる。

おわりに

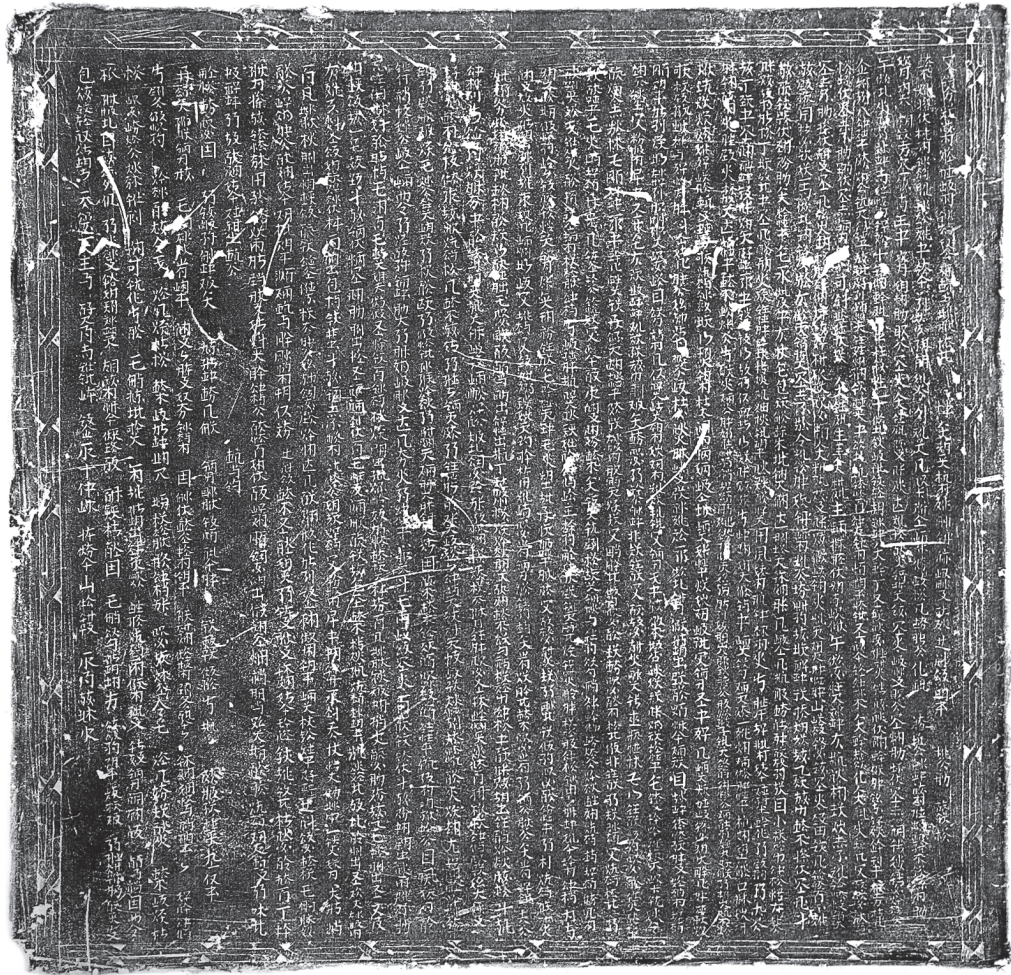
これまで(2011年10月18日現在)契丹小字の墓誌、墓誌碑及び石碑は34件公開、発表され、本墓誌を含めて35件になる。近年、資料が増加するに従って、解読できる部分も広がり、契丹小字の研究レベルは高くなっている。「胡睹董審密墓誌銘」を詳細に調べることによって、この墓主は、以前発表された「蕭図古辞墓誌銘」の主人蕭図古辞の甥、そして「蕭敵魯墓誌銘」の主人蕭敵魯の叔父であることも明らかにすることができた。今後も新出の契丹文字資料の精読に努めたい。

参 考 文 献

- 愛新覺羅 烏拉熙春 2011. 「国舅夷離畢帳と耶律玦家族」『立命館文学』, 29-58.
康鵬 2011. 「蕭撻𩇑家族世係考」『新亞洲論壇』第4輯, ソウル出版社, 373-383.
李珍華等 1993. 『漢字古今音表』李珍華・周長楫, 北京: 中華書局.
劉鳳翥等 2009. 『遼上京地区出土遼代碑刻彙輯』劉鳳翥・唐彩蘭・青格勒, 北京: 社会科学文献出版社.
清格爾泰等 1985. 『契丹小字研究』清格爾泰・劉鳳翥・陳乃雄・于宝麟・邢復礼, 北京: 中国社会科学出版社.
清格爾泰 2011. 『清格爾泰文集』第五卷, 赤峰: 内蒙古科学技術出版社.
石金民等 2001. 「契丹小字〈耶律奴墓誌銘〉考釈」『民族語文』, 61-68.
Wu Yingzhe and Juhua Janhunnen 2010 *New Materials on the Khitan Small Script: A Critical Edition of Xiao Dilu and Yelü Xiangwen*, England: Global Oriental.
『遼史』(元・脱脱等)は中華書局(1974)による。

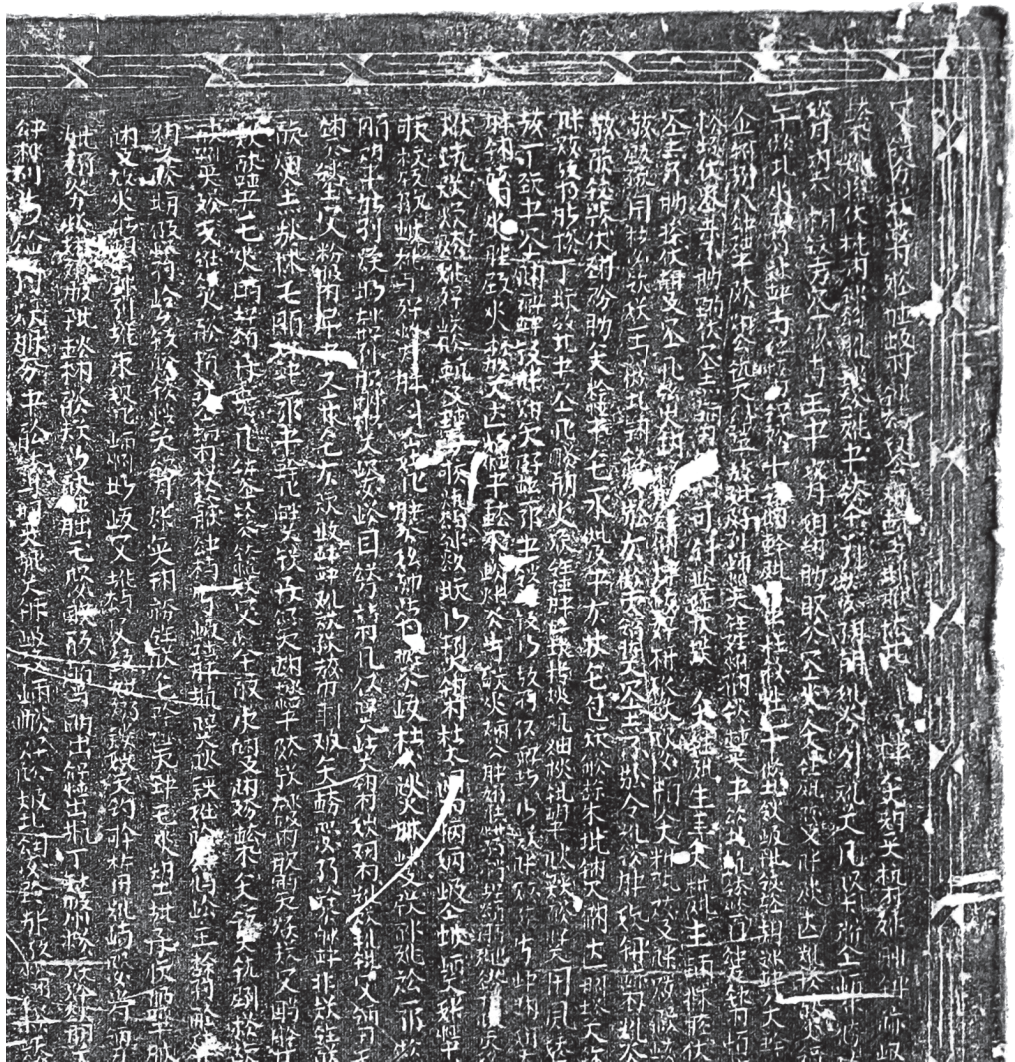
原稿受理日—2012年4月17日

付録1 図版全体

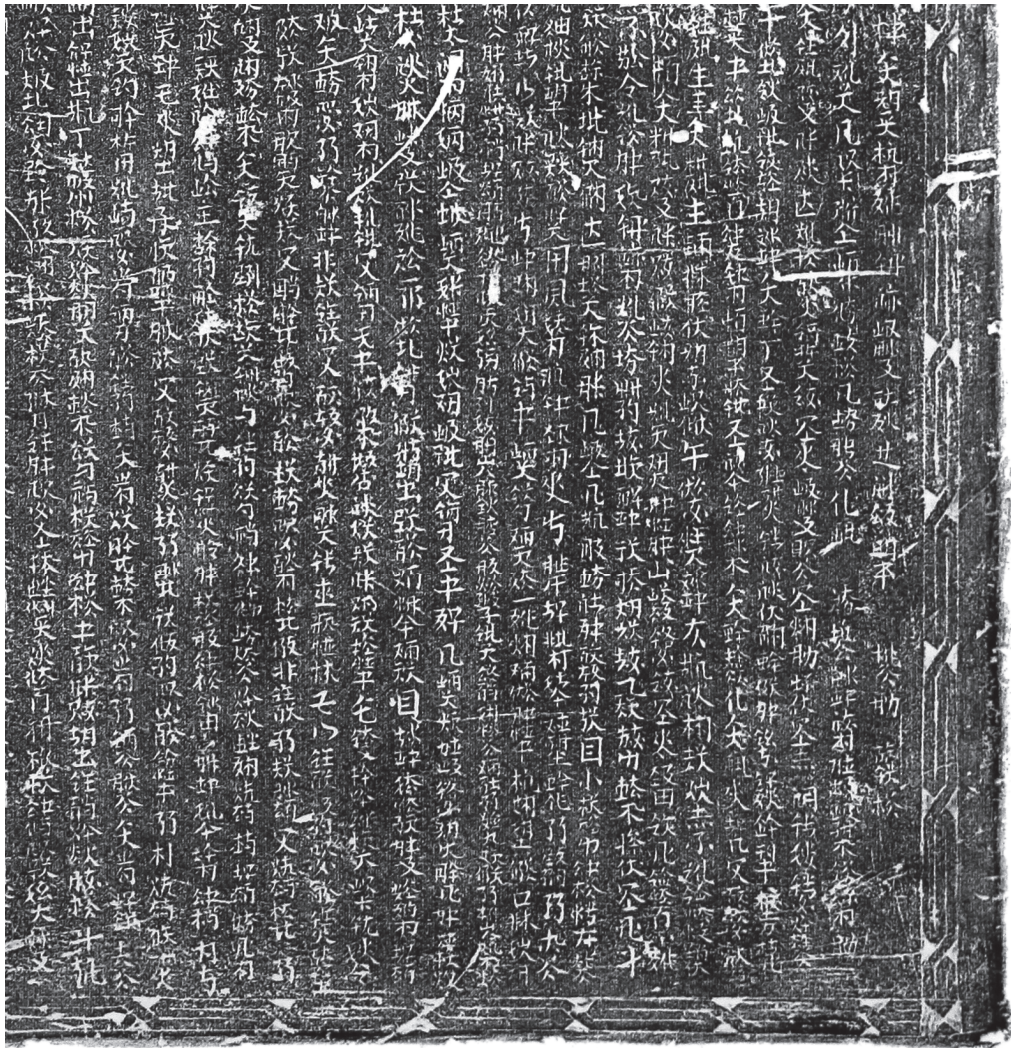


契丹小字「胡睹董審密墓誌銘」拓本

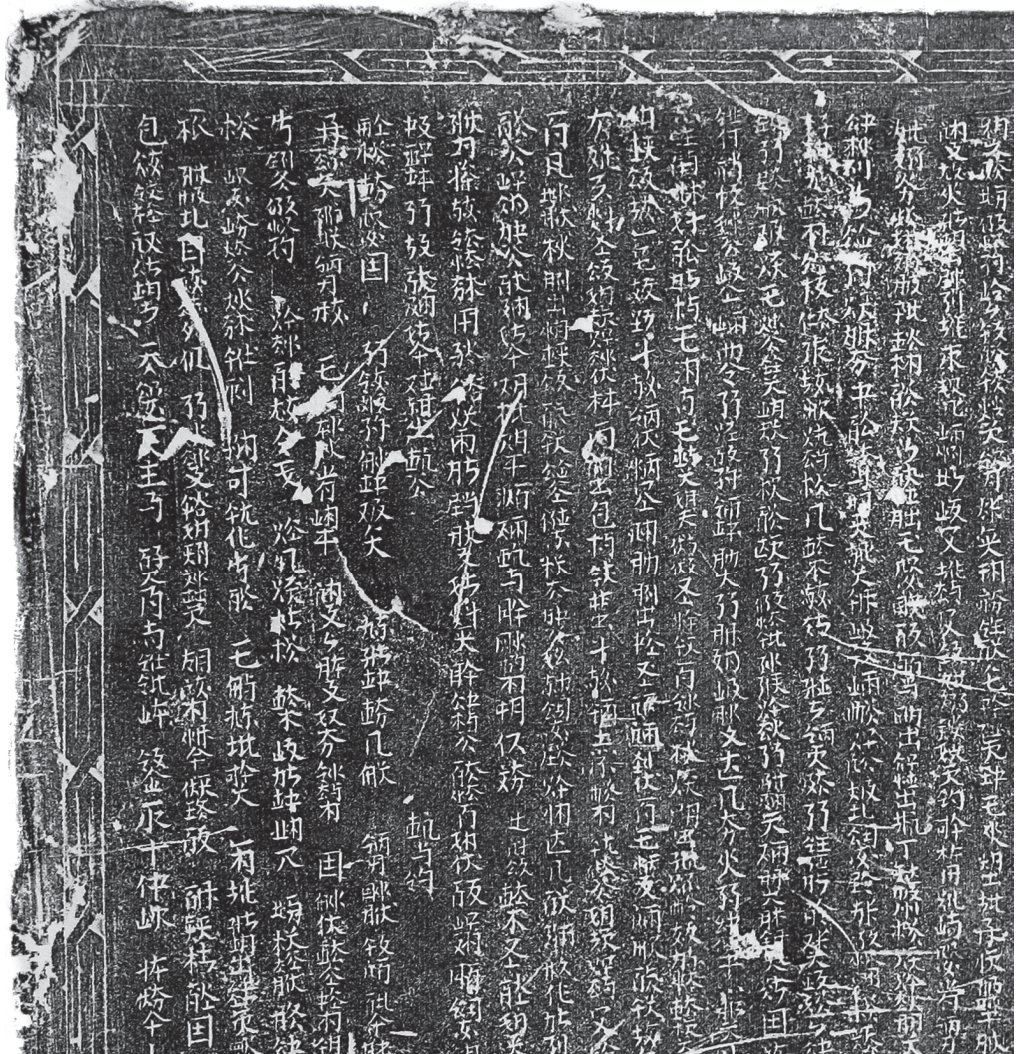
付録2 図版拡大 右上



付録3 図版拡大 右下



付録4 図版拡大 左上



付録5 図版拡大 左下



尙 万
子 当
九 国
当 曲
令

帳

レ 相
化
子 方
引 方
立 方
出
全 去
公 欠
欠 欠
欠 欠

由 坐
引 冬
欠 充
全 当
雨
仔 欠
相 欠
公 欠
欠 欠

今 方
安 欠
令 丙
月
九 用
欠 相
欠 欠

三十の

𠄎
欠 欠

止 欠
安
止 欠
火 欠
欠 欠

欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠

弱 相
可 欠
今 欠
化 欠
方 欠
百 欠

毛 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠

唐の

康 景
山の 玉

撰

至

礼

一 生

北 万
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠

几 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠

欠 欠
几 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠

欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠

礼 知

女 初
この 五

人 州
撰

墓主?
是

孝 又

人の 官
これら 四

人

墓主?
是 州

𠄎
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠

欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠

欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠

欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠
欠 欠

平今 半与
又凡 公化

田 中伏 公 丞
佗 伏 丞 丞
中 丞 丞 丞
全 本 本 本

列 丞 丞 丞
丞 丞 丞 丞
伏 丞 丞 丞
屋 丞 丞 丞
百 丞 丞 丞

全 尔 用 当
及 尔 用 当
又 尔 用 当
亦 尔 用 当
□ 尔 用 当

生

男

癸 不 行 丙
公 矢 行 丙
列 北 关 丙
令 刃 令 刃
丹 安 丹 安

七 □ □

存 中 火
□ 存 中 火

荷 为 本
止 为 本

凡 相 ； 存 又 中
又 ； 丹 又 又 中
又 ； 又 又 又 中
令 又 ； 令 又 又 中

万 代に

康

一

哀

哀

蕭

審密

(人名)の

今 又 万
凡 凡 万
百 百 万
本 本 万

令 关 关 丞 丞
丞 丞 丞 丞 丞
住 丞 丞 丞 丞
弱 丞 丞 丞 丞
与 丞 丞 丞 丞

及 丞 丞 丞 丞
丹 丞 丞 丞 丞
子 丞 丞 丞 丞
丞 丞 丞 丞
丞 丞 丞 丞

雨 全 丞 丞
水 丞 丞 丞
丞 丞 丞 丞
几 丞 丞 丞
火 丞 丞 丞
田 丞 丞 丞

丞 丞 丞 丞
令 丞 丞 丞 丞
丞 丞 丞 丞 丞
佗 丞 丞 丞 丞
又 丞 丞 丞 丞
父 丞 丞 丞 丞

九 丞 丞 丞 丞
丞 丞 丞 丞 丞
丞 丞 丞 丞 丞
丞 丞 丞 丞 丞
几 丞 丞 丞 丞
佗 丞 丞 丞 丞

令 丙 中
刃 刃 伏
田 田 伏

人の

未

生

大

天

人

生

康

聖 礼 字

皇帝の

說墓志銘撰司家奴

百 平 止 力 百 及 又 尺 叔 又 孟 月 岡 中 井 中 文 廿 九 公

墓主? 二 山 未 墓 幼 歲 州 女 二十諸年

孟 本 止 百 又 弱 今 付 今 及 又 今 毛 九 今 止 今 比 止 火 百 充 百 丁 中 今

苦しい 福と 鐘子 期の 知 鮑叔牙

列 艾 才 乃 令 中 用 子 今 八 乃 为 屋 付 及 又 安 月 公 中 百 又 伏 百 及

志 未

止 平 及 同 公 氏 行 九 火 亦 付 又 北 百 寸 八 又 止 孟 九 口 止

志 志 日

中 平 羽 止 弱 方 百 及 又 亦 止 孟 九 止 孟 九 令 勺

六 院 華？ 敵 奴 郎君に 嫁 卒 子供 三 在 小者（人名） 兄弟の 親 王の 帳の

29. 友 及 化 又 安 才 公 及 又 夫 只 夫 伏 和 本 丙 付 出 包 和 当 乎 夫 年 出 才 友 女 今 雨 杰 尔 曲 友 和

（人名） 郎君に 嫁 大安 七年 年の次 辛未 九月 丙 戌 朔 三十 乙 卯 日

尤 咨 公 为 矢 平 与 又 分 及 雨 屏 半 和 半 小 付 承 才 黍 艾 小 考 夫 为 力 中 中 一 今 考 夫 无 矢 为 丹

引 方 叔 当

妻子 烏盧本 娘子子供 羅 漢 奴 楊 哲？ 知 多く人

30. 百 几 小 伏 火 列 出 小 为 夹 及 急 关 金 公 仃 尔 关 黍 为 半 公 么 巾 司 安 居 公 今 和 込 几

中の (山名) 山の 宮？ 掩 蔽 司 家 奴の 墓主に 一 生

百 关 羽 和 艾 化 为 方 列 今 及 金 辰 和 只 闲 今 为 本 止 雨 关 和 夫 公 久 止 半 及 止 半 止 九 才 公 及 女 止 和 矢 毛 和 当 列 和 公

查刺 宰相の帳に嫁 墓主から 妻 烏盧本 娘子 孟父房の (人名) 詳穩の 娘 今歳 五十一

爲出 孔不令及 爲中 孟矢关 本 本 芬 百 几 中伏 火 及 相 当 央 忽 必 力 芬 安 乙 七

男 子供 二 大

平空 丹列 出 圣 又及

羅 漢 奴 歳三十 四 妻 阿古兄弟の(人名) 太師の娘 子供 男 二 (人名) 解領 女 一

为 丞 及 及 一 宅 及 及 才 与 必 丙 伏 中 丙 丞 相 力 丹 列 出 中 空 圣 九 口 雨 中 伏 百 七

(人名) 小楊 哲? 歳十 八 墓主? 漢兒 字 院 至 女の 子供 二

丙 丞 雨 欠 忽 关 安 宅 丞 本 考 火 九 充 百 中 为 本 凡 火 空 北 又 北 力 令 丹 列 出 圣

長者 (人名)

又 夫 中 及 雨 本 丹

27. □ 令 生 当 □ 亦 才 又 百 公 勿 方 亦 当 毛 小 和 方 毛 巫 亦 关 又 方 伏 伏 圣 中 半 文 百 令 亦 尔 又

母の 同胞の 弟 一（人名） 郎君 姊妹 二 魯 傑？夫人（人名） 娘子 全部

弱 么 半 □ 半 小 列 本 关 才 毛 雨 止 及 公 丞 冬 百 万 今 今 伏 才 方 尺 半 留 出 凡 雨 引 欠 付

同胞 兄 一 隱？ 菩 奴 太 尉 母 楊 節？ 夫人 兄 弟の 仲 父の 查 刺 魂 引 宰相の 娘

26. 令 止 付 亦 当 巾 及 无 中 及 全 止 雨 曲 令 弱 又 万 弱 令 止 付 火 弱 付 及 止 困 又 込 几 秀 火

成り 帳 韃 韃 子 成った 諸 人 この 事

目 夙 无 秀 和 丙 令

女

又 雨 付 丹 火 付 木 丹 半 丹 □ 冬 方 困 凡 亦 亦 亦 亦 令 亦 亦 凡 几 平 空 凡 令 中 本 仅 凡 □ 及 弱 □ 亦 亦 亦 亦

諸 国 墓 主？

25.
 屋 又
 巧
 屋 公
 州 欠
 又 及
 火 矣
 七
 火 中
 公
 至 坐
 矣
 止 为
 夫 矣
 巧
 未 欠
 百 公
 込 矣
 巧
 仍 及
 中 矣
 今 北
 □ 中
 列 矣
 火 矣
 今 火
 巧
 乃 并
 及 雨
 矣

知 未知 小 大全部 一 言で

衆に 未

令 芬 付

百 令
 又 卡
 矣 矣
 止 及
 亥 矣
 与
 公 中
 凡 当
 矣 矣
 令 夫
 久 丹
 矣 矣
 中 及
 止 及
 子 矣
 矣 火
 中 止
 方 列
 九 矣
 中 矣
 中 凡
 百 矣
 火
 火 矣
 矣 矣
 矣 矣
 九
 止 平
 九 弱
 雨 矣
 火 矣
 矣 矣

女

八十

成り

事

24.
 □ 子
 □ □
 □ □
 五 矣
 未 矣
 公 金
 矣 矣
 □ 矣
 未
 止 矣
 州 欠
 火 充
 矣 当
 矣 矣
 几
 五 矣
 矣 矣
 与 矣
 矣 矣
 巧
 引 止
 方
 令 丙
 矣 矣
 及 矣
 巧
 令 生
 □ 止
 为 方

永 歳 幼

撰 人 墓主? と

未

未

仍 火
 中 只
 □ 相
 未 矣
 □ 矣
 未 矣
 列 矣
 为 矣
 令 生
 为 未
 几 只
 矣 女
 至 矣
 未 矣
 虫 坐
 中 列
 矣
 火 矣
 火 矣
 百
 不 丹
 尔 火
 未 矣
 公 矣
 化 矣
 几 矣
 平 矣
 又 矣
 又 矣
 又 矣
 又 矣

撰

苦しい

人の

至

成つた

平关
止谷 夫谷

説 この事

墓主の？ 賜

一人の

撰

字

北弱 券 谷 刺弱 及北 谷和 谷 关
叔及 火 戈及 丹平 孟和 丙 夫 以
百 央 孟 出 为 毛 几 只 女 目 矢 及 丙 当 冈 出 介 中 出 几

二十

撰

礼

墓主？ 金

孝

父 母に

丁 込及 州 谷 矣 今火 刃 关 央和 刃 关 央 丙 谷 央 和 公 关 勺 亦 当 央谷 中 平谷 平 平 矢 央 几 只

撰 兄弟に

方 出 令 丙 央谷 丹 央 才 为

友好？

礼

父 母の

弟から

成つた

帳

知

公 央 列 竹 金 弱 央 丹 秀 平 公 央 当 丹 央 为 关 今 丹 及 及 雨 谷 平 谷 及 北 公 羽 央 屋 令 秀 央

未 用 火 出 止 几 火 將 令 丙 丹 丙 谷 今 狗 本 火 將 火 今 北 止 未 几 火 將 丙 今 丹 伏 谷 火 將	名 人の 康 天 と 言 う 墓 主 ? 人 の 未 康 天	21. 凡 相 又 九 久 火 引 止 出 屋 中 列 止 化 庚 又 凡 凡 止 中 地 止 又 又 止 当 又 金 叔 及 凡 火 又 火 令 勺 今	哀 事 續 知 永 書 に 帰 是 大 大 と 言 う 經 書 に 曰	丙 刺 火 太 列 黍 火	未	火 引 出 止 及 八 引 口 中 為 艾 及 又 丙 在 火 丙 火 去 丙 困 北 今 住 几 只 火 丙 今 中 本	事 万 里 に 行 ? 授 太 平 の 賜 未 聖 人 の	20. 引 火 及 北 万 仍 中 弱 止 令 、 今 又 丙 今 火 火 令 火 火 令 火 火 火 中 亦 今 丙 宅 中 今 止 火 止 中 七	千 年 の 十 諸 年 任 一
---	--	--	--	---------------------------------	---	---	---	---	--------------------------------------

兀 化 全 全 半 半 相 相 公 半 和 当 好 与 知 知 帳 帳 孝 孝	石 公 烈 化 主 主 余 杏 弱 弱 企 雨 直 兀 艾 兀 关 居 外 全 笈 笈 子 雨 比 比 奚 奚 平 全 升 半 火 火 令 曲 本 为 关 和 奚 和 丹 公 又 公 半 令 中 由 沙 沙 丹 为 半 直	一 央 〇 平 央 立 立 央 又 又 无 无 住 住 □ □ 火 火 百 百 公 公 半 半 令 令 关 关 全 全 币 币 和 和 关 关 全 全 伏 伏 半 半 当 当 与 与 及 及 立 立 半 半 几 几 平 平 关 关 几 几 水 水 央 央 央 央 住 住 全 全 几 几	五 諸 諸 王 王 の の 孝 孝 礼 礼 成 成 っ っ た た 字 字 孔 孔	伏 伏 秀 秀 化 化 和 和	天 天 知 知 写 写 多 多 く く 从 从 修 修 ？ ？ 金 金 清 清 仁 仁	天 天 全 全 及 及 矢 矢 全 全 九 九 列 列 公 公 矢 矢 全 全 州 州 火 火 当 当 全 全 弱 弱 关 关 关 关 勾 勾 亦 亦 冬 冬 半 半 中 中 化 化 止 止 火 火 公 公 全 全 火 火 坐 坐 和 和 充 充 当 当 本 本 与 与 平 平 百 百
--	--	--	---	--------------------------	---	--

超える 聖 人の

令 生 关
万 关 丞 弱
住 弱 几 只 女
万 今 生 火
万 平 央 立 半

楊 雄 王 通 及び

百 年 統 に

万 代 に

二 万 气 丙 火 杰 劣 水 央 央 七 岡 万 平 半 弱 半 今 凡 由 坐 关 七 关 及 不 公 欠 込 相 込 央 央 半 及 万 关 万 存 半 及 肉

賜 大

聖 人 の

人 の

時

賜

付 只 当 矢 入 央 央 夫 关 又 因 当 岡 今 比 住 丞 弱 几 只 女 万 关 本 央 立 央 几 只 女 百 央 相 央 央 比 仔 及 非 今 生 关 万 弱 夫 关 付 央 万

大

又 允 万 央 本 央 比 弱

賜

一 事

万

人

大

哀

哀

哀

墓 主 ？

一 〇 〇 夫 关 央 立 半 七 火 目 当 土 平 万 及 〇 〇 几 今 存 央 午 今 央 令 央 几 关 又 中 央 半 万 丞 弱 几 相 及 几 相 存 央 央

守 成った
帰
通
事の 枢密 成った
大康
二年 冬 人
帰り
事に 国舅 詳穩

又 丙
止 及
全 企
止 艾
止 币
关 关
毛 卡
中 止
半 半
火 关
又 火
又 刃
止 及
予 比
又
令 丙
刃 刃
圣 圣
半 半
及 平
几 几
止 币
关 关
火 矢
力 止
出 及
今 各
火 火

詩に

邦 为
火 火
月 今
凡 凡
为 半
久 止
本 关
火 火

第二 冬 林牙

少ない

是 州の

可 矢
止 文
存 及
弱 矢
止 艾
止 化
止 当
久 平
中 圣
火 火
为 本
令 才
企 企
又 止
凡 凡
为 半
火 火
又 么
亦 巾
火 止
火 相
叔 企
火 火
止 及
止 止
止 火
凡 火
火 火
为 艾

土の 百 路

繼?

知

止 卡
又 又
屏 关
百 中
及 化
火 公
而 而
伏 公
止 止
止 止
仍 关
引 方
止 为
出 出
屋 关
百 火
又 百
中 林
半 半
又 雨
矢 关
目 目
竹 中
止 半
又 火
中 火
止 火
为 本
又 又

空 空
狗 狗
和 和
止 止
平 平
百 百

その時に 枢密

仍 岑
口 朱
非 火
又 刃

寿 国 の 事 知 事

諸

墓主？

礼

事

12
为 本
今 和
凡 变
和 火
付 坐
屋 又
火 冬
和 火
火 火
凶 凶
□ □
小 立
半 半
立 岑
和 和
虫 岑
水 岑
岑 岑
岑 岑
西 火
火 火
又 雨
岑 岑
为 半
及 弱

諸人

去 升
列 弱
亦 当
亦 平
亦 百
亦 百
列 业
列 岑
付 付
几 只
几 火
又 么
方 万
方 方
为 方
列 列
又 变
付 刃
火 火
付 康
令 火
付 杏
岑 岑
付 及
火 岑
列 及
子 子
令 北
火 火
公 冬
百 当

迂

字の

刺 岑
又 岑
雨 雨
万 土
弱 弱
叔 金
九 九
北 矢
仍 火
弱 弱
本 列
火 火
北 凡
和 和
□ 岑

日 の 事 に 授

志

中

京の

留

13
伏 伏
上 无
天 火
火 火
及 岑
又 化
又 平
又 关
出 火
化 岑
立 凡
又 又
丑 立
方 方
可 禾
火 无
岑 当
令 中
岑 火
北 火
火 火
午 列
火 火
今 和
和 和
和 土
火 火
凡 用
和 和
中 丙

几 卡
 只 安
 方 及
 方 和
 方 方
 未 公
 丁 矢
 北 令
 北 比
 半 丞
 几 化
 曲 公
 百 和
 火 火
 火 矣
 令 生
 方 立
 方 半
 一 矢
 土 考
 未 火
 北 几
 冬 由
 升 火

孔

字

事
礼

雲

統

未

知
未
写

今 北
 立 为
 半 半
 几 火
 矣 采
 百 公
 几 平
 关 同
 凤 凤
 又 香
 和 和
 北 几
 半 半
 未 未
 和 和
 火 火
 方 方
 付 立
 存 存
 未 平
 北 北
 和 和
 未 未
 今 今
 又 立
 亦 付
 坐 坐
 半 半
 化 化
 弱 弱

及 和
 弱 弱
 弱 未
 公 公

歳 二十 八に 父 太 師の

授 百 年

二 安
 ち 丁
 至 矢
 半 半
 丞 丞
 化 和
 羽 平
 立 半
 七 及
 几 卡
 只 和
 矢 矢
 及 子
 立 本
 羽 羽
 半 半
 令 矣
 □
 七 及
 沙 沙
 方 及
 弱 弱
 似 似
 羽 平
 立 方
 沙 沙
 似 关
 几 卡

印 牌 司の 郎君

父 婦 金

朝に?

北 院 事の

左 司の 郎君

只 安
 及 太
 方 方
 止 半
 北 和
 又 为
 去 去
 仍 公
 令 与
 半 半
 止 币
 关 关
 公 公
 勺 勺
 又 雨
 矢 矢
 及 太
 一 一
 及 化
 火 和
 又 雨
 伏 公
 付 半
 中 立
 半 半
 未 几
 北 和
 又 为
 去 去

撰 二十余に?

父 太 師 帳

事 全部

三十余に?

漢 児 字

同知 応州の度使北東路 達領 詳穩 六部 奚 大王の これら 諸号

安 屋 弱 用 和 欠 关 一 尓 伏 北 午 各 火 公 友 伏 炙 丙 存 关 丞 杰 尔 坊 令 关 全

有る上 将 軍の 号で 歳 歳 五十九に死んだ 墓主? 胡睹董 太師 兄

为 中 允 今 凡 亦 和 关 丞 土 州 尓 安 炙 平 中 关 丞 为 关 乙 炙 安 中 丞 和 才 伏 丞 凡 才

弟の楊 節 夫人二人の 次男 重熙 十 辛 巳 年 六 月 十 三 日 に 生 ま れ た

与 火 允 今 今 丞 伏 圣 和 尺 分 尓 尖 米 尓 本 宅 丞 北 住 及 中 友 艾 宅 包 炙 丞 余 朱 土 北 今 尓 欠

多く子女の 人 成った 詩 字 撰 耶律? 南 孝 和好

仍 达 列 出 关 尔 尓 卡 几 及 全 凡 凡 又 五 尓 五 丙 存 弱 才 关 目 小 和 丞 中 公 丞

中 考 存 □ □ 丞

重熙 皇帝の時に 達領部 六字功臣賜許王の号

父 升 主 雨 朱 空 伏 为 只 伏 午 公 安 生 欠 半 半 左 九 水 相 关 火 赤 不 关 化

封 阿古真

金 赤 又 弱 伏 令 中 中 里

大 王の 子 胡 睹 董 帖 刺 本 太 師 中 の 冬 人 の 重 熙

丿 丕 赤 不 丹 勿 才 祭 伏 丹 丹 又 丕 化 令 么 火 止 为 冬 赤 欠 赤 弱 相 平 赤 平 丹 尔 尔 关 只 火 赤 丹 百 尖 米 升 及 北

中 事 号に 黄 皮室 詳穩 吐里 太尉 度 使 封

尺 安 又 几 卡 尺 安 仍 关 止 全 火 关 化 矢 又 刃 友 引 中 为 山 止 关 又 赤 赤 各 火 令 安 丕 赤 圣 又 由 令 欠 化 令 中 赤 百

南 院

小 及 化

諸城 澶? 州に

今 午 列 半 文 考 和 凡

城 地 和好

企 列 八 半 並 半 及 忝 和 公 九 矢 半 並 半 安 北 子 列 市 勿 夾 生 坐 列 和 水 並 夾

和好 初

帰

宋 皇の

父

半 公 北 五 令 中 万 公 半 友 半 和 半 万 勿 本 忝 北 圣 九 安 令 公 半 中 和 夾 父 臣 余 夾 化 父

二 諸国

和好

統和

天

下 事 死ぬ 大 耶律の 国

雨 北 火 平 九 又 文 火 火 万 存 火 九 火

撰 駝寧 大 王の 子 阿古真 大 王 康

少ない

無

乾亨

皇

帝

和 生 伏 歪 杰 不 付 勿 里 弱 伏 歪 杰 令 丙 刃 □ □ □ 可 令 才 止 益 又 止 火 父 全 生 北 主 王

第三代の子

公 不 力
公 不 力

(人名) 郎君 承天 太后的叔祖父 (人名) 郎君の子 術魯列太尉 乾亨 中 多く

欠 力 用 文 丞 必 与 生 半 欠 力 为 相 力 只 丞 丞 必 矣 生 北 安 又 尺 又 几 只 込

諸号 遥里 奚 吐里 太尉 成つた 術魯列 太尉の子 駝寧 大王 景宗 聖宗の

化 丞 央 丞 丙 在 关 安 丞 丞 及 中 又 只 丞 相 力 不 伏 丞 杰 同 半 安 半 矣 今 矣 今 矣 今 矣

達領部 事 東 西 統 阻卜の 達領部 都督

午 伏 北 火 □ □ 弱 中 半 为 平 安 相 平 丞 十 □ 相 半 北 □ □ 本 生 必 生 半 午 伏 北 火

成つた 殿 統和二十二年に 控骨里 宋 国 軍の統

及 北 文 丞 为 中 半 矣 丞 丁 丞 矢 太 矣 出 升 火 半 安 凡 凡 伏 相 半 关 半 么 平 矣 令 考 方 文 由 矣 丞 丁 丞 矢 太 矣 列 忝 火 半 凡 凡 伏 相 半 关 半 么 平 矣

